

令和2年度3回福崎町地域公共交通活性化協議会会議録

1. 日時 令和3年1月29日(金) 10:30~12:00

2. 場所 福崎町役場 2階 大会議室

3. 委員の出欠

	所属・役職等	氏名	備考
会長	兵庫県立大学名誉教授	松本 滋	
委員	福崎町区長会副会長	吉識 秋光	
	福崎町老人クラブ連合会長	藤岡 修	
	福崎町商工会長	谷口 守男	
	JR西日本福崎駅 副駅長	東村 善夫	
	神姫バス株式会社 姫路営業所長	池田 広幸	
	社団法人 兵庫県バス協会専務理事	水田 節男	
	社団法人 兵庫県タクシー協会 西播支部副支部長(神崎交通株式会社)	依藤 義光	
	神姫バス労働組合 副執行委員長	山本 記義	
	国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部 輸送部門首席運輸企画専門官	田橋 一	
	中播磨県民センター姫路土木事務所 企画調整担当所長補佐	安井誠一郎	欠席
	福崎警察署 交通課長	澤 聰	
	福崎町議会議員(民生まちづくり常任委員会)	三輪 一朝	
	福崎町議会議員(総務文教常任委員会)	石野 光市	
	副町長	近藤 博之	
	技監	野邊 正彦	
オブザーバー	近畿地方整備局姫路河川国道事務所 道路管理第二課長	竹内 浩二	欠席
	兵庫県県土整備部県土企画局 交通政策課 副課長	三宅 豊文	欠席
特別委員	姫路市都市局 交通計画室 主幹	池内 一人	

事務局	まちづくり課 課長	山下 勝功	
	健康福祉課 課長	谷岡 周和	
	健康福祉課 課長補佐	藤田 裕文	
	まちづくり課 課長補佐	澤田 和也	
	まちづくり課 主事	辻中 寛朗	
姫路市	交通計画室 係長	市村 力也	
加西市	人口増政策課 課長	藤後 靖	
市川町	企画財政課 主事	楠田 悠太	

4. 配布資料

- ・会議次第
- ・座席位置表及び委員名簿
- ・資料1 大学バス運行廃止について
- ・資料2 駅バス運行社会実験について
- ・資料3 巡回バス「サルビア号」の運行再編等について
- ・資料4 市川町連携コミュニティバスの運行等について
- ・資料5 加西市連携コミュニティバスの運行等について
- ・資料6 福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」の本格運行について
- ・資料7 コミュニティバス運営のための施設（車庫等）の建設について

5. 傍聴の可否

傍聴可、傍聴人2名

6. 会議録（司会 まちづくり課長）

1 開会

2 あいさつ（会長）

事務局 ただ今から、令和2年度第3回福崎町地域公共交通活性化協議会を開催します。

【協議会成立宣言】

本日は、委員の1/2以上の出席をいただいておりますので、福崎町地域公共交通活性化協議会設置要綱第6条第3項に基づき、この会議は成立することを報告いたします。

中播磨県民センター姫路土木事務所安井所長補佐からは欠席の連絡を受けています。また本日は協議事項に関係する姫路市交通計画室の市村係長、加西市人口増政策課の藤後課長、市川町企画財政課の楠田主事にも出席いただいております。

続きまして、事前に配布させていただいております本日の資料の確認をお願いいたします。

本日の会議次第、名簿及び座席表、それと各資料でございます。

- ・資料1 大学バス運行廃止について
- ・資料2 駅バス運行社会実験について
- ・資料3 巡回バス「サルビア号」の運行再編等について
- ・資料4 市川町連携コミュニティバスの運行等について
- ・資料5 加西市連携コミュニティバスの運行等について
- ・資料6 福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」の本格運行について
- ・資料7 コミュニティバス運営のための施設（車庫等）の建設についてでございます。

新たな配布資料として「福崎町・加西市連携コミュニティバス路線図」「感染拡大防止徹底要項」「IC乗車券利用件数」「神姫バスグループがお届けするワンストップサービス」「運転免許の返納を考えてみませんか」「お客様に安心を」「貸切バスは換気が必要な乗り物です」などの資

料を配布させてもらっています。
資料はよろしいでしょうか。

3 報告事項

①大学バス運行廃止について

事務局 それでは、「3の報告事項」に移ります。報告事項の議事進行は、第6条第1項の規定によりまして松本会長にお願いいたします。

会長 それでは、協議事項①大学バス運行廃止について、事務局から説明していただきます。

事務局 （資料1により説明）

大学側が夕方に走らせているスクールバスを住民も利用することができるように始めたものであります。平成30年9月に大学と運行契約を結び10月から運行開始をしています。サルビア号運行終了後の交通空白時間帯を解消するために実施したものです。令和元年10月、巡回バスの時間延長により1便減らし4便になりました。令和2年4月から新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため4便から2便になりました。廃止の理由は、学生の利用の減少、来年度から食事付き学生寮の入寮となりバス利用者が大幅に減る事からスクールバス運行の縮小、見直しを検討しており、福崎町との契約は令和3年3月31日をもって解約ということとで協議を進めてきました。大学バスを利用した運行ということもあり、大学側の意向で運行廃止という結果になりました。

会長 何かご意見ご質問ありませんか。
（なし）

②駅バス運行社会実験について

会長 それでは、報告事項②駅バス運行社会実験について、事務局から説明していただきます。

市川町 （資料2により説明）

駅バスとは甘地駅と鶴居駅の利用者の利便性向上のため、夜間時間帯の福崎止まりの列車からの乗り継ぎバスのこととなります。駅バスの社会実験を令和2年1月から3月まで行いました。当初は令和2年1月から3月に行った社会実験の平均利用者数で本格運行の可否を判断する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で利用者が減った可能性が考えられたため、昨年6月の会議では同じ内容で本年の1月から3月で再度社会実験を行う予定としていました。この度、JR西日本の春のダイヤ改正により、最終便が1便繰り上がり姫路駅での待ち時間が最大53分から39分に解消される見通しのため社会実験は行わず、駅バスは休止のままとします。以上です。

会長 何かご意見ご質問ありませんか。
（なし）

4 協議事項

会長 協議事項①巡回バス「サルビア号」の運行再編等について、協議事項②市川町連携コミュニティバスの運行等について、協議事項③加西市連携コミュニティバスの運行等について、関連していますので一括して事務局より説明していただきます。

①巡回バス「サルビア号」の運行再編等について

事務局（資料3により説明）

（2ページ）

まちなか便約74%、川西便約84%、川東便約78%で郊外便の合計は約83%で推移しています。10月に改編をした買い物便は約94%、市川町連携コミバスのデマンド運行は0、定時定路線が約57%で利用者数を合計すると約77%になります。

（3ページ）

モビリティマネジメント活動については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり全くできていません。市川町連携コミュニティバスについては、神崎病院での入院患者との面会ができないこともあり、利用者は全くありません。定時定路線についても約57%です。10月の改編で川東便のJR福崎駅への乗り入れが開始されました。今まで文化センターで降車していた利用者が喜んで、と乗務員から聞いています。買い物便については、10月の改編で週1日から週2日の利用になったので、今まで利用のなかった大貫地区や西田原地区からの利用者がでてきており、利用者も増加傾向にあります。

（4ページ）

町民の意見と4月改編の概要です。総合計画の自由意見により、巡回バスに乗れない時があり、満員時の対策や、高齢者の通勤や買い物弱者への対策が必要、などの意見が寄せられました。第3次障がい者プラン策定にかかる町民アンケート、当事者団体ヒアリング実施第8期ゴールドサルビアプランパブリックコメントでの意見では、加西市方面への足の確保、公共交通のバリアフリー化を推進、新型コロナ等の感染症対策の実施などの意見が出ました。これらの意見を受けての4月の改編の概要になります。まちなか便については、4月から運行事業者を神姫バスから神崎交通に変更します。川西便については、慢性的な遅延と土曜日の利用が伸び悩んでいるので運行ダイヤの変更と最終便を1便減で計画をしています。川東便については、新たな顧客がでてきているので、運行ルートの変更が必要になっています。買い物便については、引き続き利用促進をしていきます。市川町連携と加西市連携については、後ほど詳しく説明させていただきます。

（5ページ）

バス停名称の変更について、利用者にとって目的地をわかりやすくするために副名称を追記します。対象のバス停は4バス停留所です。

（6ページ）

まちなか便の改編について、運行事業者の変更及び運賃については神姫バスから神崎交通に変更になります。車両は新車両となるが、車番及びデザインは、町民からの認知が進んでいるので現行車両を引き継ぐ形で考えています。運賃の形態は福崎町巡回バスと同じにします。神崎交通の路線が新規路線になり、路線延長という扱いになります。神姫バスのまちなか便路線は休止路線となります。

（7ページ）

星印のバス停は、神姫バスのまちなか便のみの路線になるので、新たに

神崎交通には許可をとってもらふこととなります。

(8 ページ)

多くが共用バス停となっているが、この13バス停については、現行はまちなか便のみとなっているため、今回福崎町地域公共交通活性化協議会の協議に諮らせていただきます。

(9 ページ)

時刻表の変更になります。休憩場所が午前中は「もちむぎのやかた」、午後からは「図書館」になっているが、辻川観光交流センターの利用促進を図るという観点から休憩場所を変更します。

(10 ページ)

川西便の改編について、利用者からの要望を受けて田尻住宅(ナンバ前)を追加します。利用実績の分析により、急行バス停に追加することによる利便性向上のため福田住宅を急行バス停に追加します。土曜日運行の見直しとして、利用実績がほぼ皆無のため最終統合便の休止をさせていただきます。1便目統合便の運行ダイヤの見直しについて、西治交差点付近での慢性的な通勤渋滞のため、定時運行が難しいので時刻表の見直しをさせていただきます。1年間運行を行った結果、バス停間の軽微な時間調整が必要となっているため、ダイヤ変更を実施したいと思います。

(12 ページ)

川東便の改編について、中島地区で新たな利用者が増え、運行事業者からの要望により、中島地区内の3つのバス停を「長目、八反田、吉田」エリアに移行するものです。

(13 ページ)

買い物便の改編について、加西市連携コミュニティバス運行開始に伴う時刻表変更です。詳細は後ほど説明させていただきます。

②市川町連携コミュニティバスの運行等について

事務局 (資料4により説明)

(2 ページ)

運行形態の見直しということで、現行の定時定路線運行を4月1日からデマンド型にさせていただきます。定時定路線については休止とします。背景としては、平成30年10月より運行を開始した「福崎町・市川町連携コミバス」の利用者の伸び悩みがあります。そこで区域運行にすることで空バス解消及び利便性の向上させ、隣接する町の交流人口の増加を図るということです。本年度に関しましては新型コロナウイルス感染症のためかなり利用者が減っている状況です。デマンド運行のメリットとしては予約型の運行となるので、運行があった場合のみの経費の負担となるため経費削減に繋がります。現在は定時定路線のため、地区わけを行い、週1日ずつの運行だが、週2回の利用が可能となります。他に予約がなければ目的地に直行できます。デメリットとしては利用する場合、事前に電話予約をする必要があります。

(3 ページ)

区域運行となるため、今まで行けなかった西側に行けるようになります。市川町側は、甘地駅を追加するということです。便数の変更として、9時台の市川町から福崎町行きを追加し、更なる利便性の向上を図ります。

(5 ページ)

①は今までと同じで対象となるのは福崎町民です。②は市川町から福崎町に来る形です。予約時間は前日の15時まで、対象者は市川町民です。③は新たに追加された便です。ライフが9時に開きますが、8時20分頃に着いており利用が伸び悩んでいます。また、図書館も10時に開くのでそれに向かって行く形になります。④は福崎町から市川町へ向かう便です。対象は市川町民と福崎町民です。④-1を利用すると福崎町内どこからでもせせらぎの湯に行けます。帰りについては、⑦で最寄りのバス停まで運行します。⑤は市川町から福崎町へ行く便となり、神崎総合病院からの帰りを想定しています。⑥は福崎町から市川町へ行く便です。市川町の方が福崎町から帰るイメージです。⑦は火曜日のみです。

(6 ページ)

運行日、運行区域、起点・終点は変更ありません。運行回数は午前2便午後2便に変更します。車両は現行の車両も使いますが、基本的にタクシー車両併用で、1便目以外はタクシー対応になります。運賃、運行事業者は変更ありません。

(7 ページ)

運行日は変更ありません。運行区域はデマンド型になるので、表の区域になります。バス停は市川町7つ、福崎町7つになります。運行回数は、午前3便、午後2便に変更します。車両は先ほどと同じです。運賃、運行事業者も変更ありません。

(8 ページ) (9 ページ)

1便目は、予約方法は変わりません。その他については、利用の1時間前に予約していただきます。福崎町民側についてはコールバックがあります。周知の方法は、広報3月号及び利用促進チラシを予定しています市川町民側について、利用の1時間前までに予約していただき、コールバックはなしです。周知の方法は広報3月号及び4月号で周知します。

③加西市連携コミュニティバスの運行等について

事務局 (資料5、A3資料により説明)

(2 ページ)

平成30年度、令和元年度に実施した自治会へのコミバス説明会の中で加西市方面(イオン、加西病院等)への強い要望がありました。また、令和2年度に福崎町第3次障がい者プラン作成のために実施した住民アンケートや峰の会作業所(障がい者当事者団体)との意見交換会の中で、加西病院や精神科病院であるきし医院への移動手段を検討して欲しいとの要望が出されました。

神姫バス路線(62系統 大貫路線)についても、新型コロナウイルス感染症の影響も大きく受けており、より利用促進を図っていく必要があるというような背景があります。

対策として、市町間連携及び神姫バス利用促進を兼ねた運行再編の検討をしました。

①神崎交通に加西市連携は可能か打診したところ可能との回答がありました。②神姫バス協議で交通空白時間中運行について打診したところ承諾可との回答をいただきました。③加西市協議で市長間連携について見

解確認したところ、前向きに検討したいとの回答をいただきました。

④市川町協議では、定時定路線運行をデマンド運行に変更可能か打診したところ、変更可との回答がありました。

(3 ページ)

①火曜・木曜日に市川連携（基本デマンド）を残したまま加西市連携を行います。運転手の勤務時間に変更はないため、曜日の運行経費は今と変わりません。

②基本的な福崎町民及び加西市民の移動の流れですが、福崎町民については、福崎町全域から加西市中心部になります。行きはサルビア号で、帰りは神姫バスとサルビア号で移動します。

加西市民の加西市中心部から福崎町中心部の流れです。行きはサルビア号、帰りはサルビア号と神姫バスで移動していただきます。

次に、加西市民（畑、西谷周辺）です。県道三木穴栗線沿線から加西市中心部について、行きはサルビア号で、帰りは神姫バスで移動していただきます。

公共交通運行空白時間帯を埋める運行形態を検討しています。福崎から加西方面は、朝 11 時頃まで運行していないこともあり、朝 9 時前の加西市中心部や加西病院方面への移動需要があると考えられます。

(4 ページ)

事業名は福崎町・加西市連携コミュニティバス、実施者は福崎町、連携団体は加西市です。

運行事業者は神崎交通株式会社です。事業手法は区域運行デマンド型及び定時定路線型乗合バスです。運行地区について、デマンド型運行は福崎町全域、定時定路線型運行は福崎町南田原、西田原、東田原、大貫および加西市の一部です。運行開始は令和 3 年 4 月です。

運行車両は 10 人乗りのワンボックスタイプでバリアフリー対応の車両です。コース・ダイヤについては後述のとおりです。運行便数について、デマンド型が 3 便、定時定路線型が 4 便です。

運行日は、火曜及び木曜日（運休日：祝日、12 月 31 日から 1 月 3 日）です。

(A3 資料 路線図)

西大貫からは神姫バスのバス停を共架させていただきます。笠屋と本町西には止まりません。イオンモール加西北条、アステシアかさいについては、加西市のねっぴ〜号のバス停に共架させていただきます。

(6 ページ)

運行イメージと 1 日の流れです。

加西市デマンド、定時定路線、空き時間に買い物便を混ぜたような流れになります。

(7 ページ)

福崎町から加西市のパターン 1 は、行きがサルビア号でねっぴ〜号に乗り換えて加西病院に行けます。帰りは、ねっぴ〜号からサルビア号に乗り換えて帰ってくる形です。

パターン 2 は、サルビア号で行って、帰りは神姫バスで買い物便に乗り換えていただきます。

パターン3は、行きがサルビア号で、帰りは神姫バスから乗り換えてサルビア号です。

加西市の利用についてです。パターン1は、行きがサルビア号で帰りは神姫バス、パターン2も同じです。

加西市から福崎町についてです。パターン1は行きがサルビア号、帰りがサルビア号から神姫バスです。パターン2は行きが神姫バスから買い物便に乗り換えて、帰りはサルビア号から乗り換えて神姫バスになります。

(8ページ)(A3資料裏面 参照)

①-1、前日予約をして対象のバス停(108箇所)から西大貫のバス停まで行きます。運賃は100円です。

(9ページ)

①-2、そのままアステシアかさいまで定時定路線で運行します。西大貫8時37分発で、アステシアかさいへは8時50分に到着します。加西病院へ行きたい方が多いと思います。アステシアかさい8時56分発で、加西病院へ9時2分に着きます。停車バス停は福崎町が東大貫と日光寺登山口の2箇所です。加西市は神姫レストラン、西畑、畑、西谷、谷、宮西は乗車専用バス停で、イオンモール加西北条、アステシアかさいは降車専用バス停になります。運賃は1回300円です。ただし、デマンドからの乗継者は200円です。加西市民は一部特例者があります。巡回バス定期所持者は200円、巡回バス無料乗車券所持者は無料になります。

(10ページ)

次に、加西市の方が福崎町に来られるイメージになります。サルビア号を使ってアステシアかさい8時55分発で、吉田西9時18分に着きます。加西市の7箇所は乗車専用のバス停で、福崎町の4箇所は降車専用です。

(11ページ)

福崎町に来られた加西市の方が加西に帰るパターンです。吉田西12時42分発で、西大貫12時53分着です。停車バス停は4箇所で12時56分発の神姫バスに乗り継ぐという形で考えています。運賃は100円です。

(12ページ)

神姫バスの路線になります。各神姫バス停で降車可能です。運賃は神姫バス規定の運賃でアステシアかさいまで370円です。65歳以上の免許返納者は半額です。

(13ページ)

加西病院に行かれた方が福崎に帰ってくるイメージです。アステシアかさい13時6分、イオンには止まりますが、他のバス停はすべて通過し、西大貫13時16分に着きます。運賃は300円です。そのまま乗り換えなしで町内全域デマンドに移行できます。

(15ページ)

神姫バス路線を使って福崎町に帰ってくるパターンです。西大貫でサルビア号に乗り換えます。

(17ページ) (18ページ)

加西市民の方が辻川界限やライフなどから当日予約により運行を実施します。田原地区から西大貫に行き神姫バスに乗り換えて帰るというイメージです。

(19ページ)

加西市内のバスについては、加西市民のみ無料になる方がいらっしゃるようで、75歳以上の方、障がいをお持ちの方などが身分証の提示で無料になるそうです。また、加西病院専用券というのがありまして、指定お渡し所で受け取ると無料で乗車でき、これについては福崎町民も利用可とのことでした。

(20ページ)

9箇所バス停を新設します。

イオンモールのバス停は、Bのバス停を使用します。アステアかさいのバス停も、Bのバス停を使用します。以上です。

会 長

ありがとうございました。

委 員

ご意見ご質問ありますでしょうか。

非常に良いと思います。知り合いの方で、加西まで神姫バスで行ってバス停で降り、歩いて市民病院に行ったということで、坂を上るのが大変で、帰りにはしんどくてタクシーを呼んだという話を聞きました。片道だけで、3,000円ぐらいかかったそうですが、それがこの低価格で連携がうまくいけば非常に良い。特にバスを利用するのは高齢者が多くなりますので良いと思います。ただ、デマンド方式ということですが、広報で電話する場所、曜日などをしっかり啓蒙していただきたい。正直、お年寄りの方は細かい書類みたいなものを出されても多分見られないです。加西病院やイオンを利用するケースは多いと思いますので、うまく啓蒙していただくとうまい連携になると思います。

会 長

ありがとうございました。

委 員

他に、ありますでしょうか。

事前に資料をいただいて見ましたが、利用される方に理解していただくには、きちんとした丁寧な説明がいるのではないかと思います。

加西の連携の分も運賃が違うところ等分かりにくいのではないかと思います。どうお考えですか。

事 務 局

今回は、加西市との連携と神姫バスの利用促進を図るということを考えておりますので、ややこしくなっていることは認識しています。

ただ、実際利用する時にはもっとシンプルになります。というのも、今回は加西市と福崎町を併せて説明しましたので余計にややこしくなってしまったと思います。福崎町の方へは行き方と帰り方のシンプルな方法で説明させていただいたほうがよいと思います。

運賃ですが、協議して決めた運賃ですのでご了承いただきたいと思っております。

委 員

朝の時間帯にニーズがあるとのことですが、神姫バスは、前は走っていませんでしたか。

委 員

加西大貫線は、主な人の流れといたしまして姫路駅を目的とするダイヤ編成となっております。ずいぶん前には午前中の便もありましたが、利

用が少なくなっていて、今の形態になりました。午前中は姫路方面、お昼以降、福崎、加西方面に帰ってくるというのが加西大貫線のダイヤになっています。

委員 ありがとうございます。

いずれにしても、皆さんによく理解してもらえるようにお願いします。

会長 全体を理解するのは無理なので、自分が利用するパターンで、どう行って帰ってくるのかというのが必要ですね。

これは4月1日からですか。

事務局 加西市との分については、4月6日からです。そのほかは4月1日からになります。

会長 分かりやすいようにということですが、対象者が福崎町民、加西市民、市川町民という風に書いてありますが、それ以外は乗れませんということではないですよ。便が動いていれば誰でも乗れますよと書いてある方が良いと思います。

事務局 はい。

会長 それでは、協議事項①②③の採決に移りたいと思います。

協議事項①巡回バス「サルビア号」の運行再編等について、賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

確認しましたので可決します。

次に、協議事項②市川町連携コミュニティバスの運行等について、賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

はい、確認しましたので可決します。

協議事項③加西市連携コミュニティバスの運行等について、賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

はい、ありがとうございました。

それでは、協議事項①②③について協議が整いました。

④福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」本格運行について

会長 続きまして、協議事項④福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」の本格運行について、事務局に説明していただきます。

事務局 (資料6により説明)

ふくひめ号につきましては、公共交通空白地の解消や工業団地の足の確保といった観点から、トヨタ・モビリティ基金を活用して令和元年10月から令和3年3月31日まで社会実験を行っています。

(2ページ)

現行実施体系について示しています。

(3ページ)(4ページ)

現在のふくひめ号の時刻表です。

(5ページ)

運行開始から2020年12月までの運行実績を報告させていただきます。

令和元年度は運行日数144日、利用者数4,591人、日平均約32

人です。令和2年度は運行日数223日、利用者数8,664人、日平均約39人です。現在までで、運行日数367日、13,255人、日平均約36人となっています。

昨年の3月から5月はコロナの影響を受けましたが、6月以降は持ち直して利用者数が増加しておりました。また、最近のコロナの影響で若干減っていますが、通勤の方に関しましては変わらず利用していただいている状況です。

(6ページ)

平日と土曜日の利用者数です。土曜日が伸び悩んでいます。

(7ページ)

曜日別の利用者数と便別の利用者数です。朝夕の利用者は多いですが、昼間の利用者数が少ないので、利用促進を図っていききたいと思います。

(8ページ)

バス停別の利用者数です。

(9ページ)

現在の収入状況です。約130万円です。

(10ページ)

本格運行に向けて姫路市と協議している状況でございます。

運行実績や住民の意見等を踏まえ、本格運行に向けて運行再編を考えておりますので説明します。

まず、運行実績等を勘案した上でのダイヤ改正、住民等の意見による運行ルートの変更及び新設バス停設置です。

各便にかかる変更の概要です。

1便目の通勤便A（上り）は土曜の利用者が少ないということで、理由として企業が休みの所があり通勤利用者が少ないということをもとに勘案して廃止となりました。

2便目の通勤便Bも同じく土曜日が廃止となります。

3便目の通勤便A（下り）も同じく土曜日が廃止です。

4便目の連携便は地元の要望があり、バス停を3箇所新設します。それに伴い、ボンマルシェ前へのルート変更を行います。

5便目は先ほどの4便目と同じです。

(11ページ)

6便目も4便目と同じです。

7便目も4便目と同じですが、実績を勘案し土曜運行を廃止します。

8便目の通勤便A（上り）は1便目と同じです。

9便目の通勤便Bは2便目と同じですが、11便目の前倒しによる運行時間の変更を予定しております。

10便目の通勤便A（下り）は3便目と同じですが、先ほどと同じで運行時間の変更を予定しています。

11便目は連携便でバス停とルートは4便目と同じですが、工業団地に行く便が午後8時前になり、夜勤の方が利用できないということで8時からの夜勤に対応して20分前倒しした運行を実施したいと考えています。

土曜日運行ですが、基本的に通勤便の土曜日運行は全て廃止します。

連携便は4便目～7便目と11便目ですが、その内の3便はマリア病院行きのバス停に接続していますので、土曜日にも運行します。

(12ページ)(13ページ)

連携便の運行ルート案です。

(14ページ)(15ページ)

新規バス停の位置図と写真です。

(16ページ)(17ページ)

ダイヤ改正案について、バス停を西野南、西野北、田尻住宅の3箇所追加します。11便目を20分程度繰り上げます。それに伴い9便目、10便目の調整を行います。現在、時刻表の作成を進めておりまして、運行事業者と調整しながら設定しております。

(18ページ)

利用料金について、改正前は一般200円、中学生以下無料でしたが、改正後は中学生以上200円、小学生100円、未就学児無料にしたいと思っております。1ヶ月定期券、6ヶ月定期券については変更ありません。乗車券は5枚綴り1000円を廃止して、回数券として11枚綴り2000円の予定です。その他、スマホ決済「ペイペイ」を導入します。

(19ページ)

地域内フィーダー系統確保維持計画の変更についてです。

前の協議会で承認を得ました計画ですが、承認を国の方へ申請しまして認定通知があったところです。

前回の内容から変わる部分、4月からの運行再編に伴いまして、土曜日運行の減便、計画運行日数・回数の減、ルート変更に関わる距離、路線図の変更がありますので、計画変更の届出が必要になります。

(20ページ)

変更箇所として、姫路市連携③のルート変更に伴い、距離が変わります。姫路市連携①の通勤便は、土曜日運行の廃止により運行日数・回数の減ということで変更しています。

(21ページ)

令和4年度、令和5年度の表を付けています。

(22ページ)

変更後のルート図です。

(23ページ)(24ページ)

各停留所の名称と位置とキロ程です。

バス停を3箇所追加し、距離も変更しています。

(25ページ)

スケジュールです。

運行再編につきましては、令和2年12月17日の運行実施協議会で承認を得ております。それ以前の令和2年10月13日に工業団地協議会の理事会があり、土曜日運行の減便について承認をいただきました。

令和3年1月21日に姫路市の公共交通会議において、ふくひめ号について協議をしていただき承認されました。

そして、本日の協議会です。協議後の流れとしては、地域内フィーダー系統確保維持計画の変更届出を行い、姫路市と運行に関する協定を締結

します。令和3年4月1日ふくひめ号本格運行開始という流れとなっています。以上です。

会 長 ありがとうございます。

この件について何か、ご意見等ご質問ありますでしょうか。

姫 路 市 失礼します。

本市におきましても、先日1月21日に姫路市地域公共交通会議 陸運分科会というのがありまして、そちらの方でふくひめ号について審議いただき承認を得ております。なお、本格運行に際しまして、土曜日運行について全面運休することも話に上がりました。利用の少ないバス停、国道よりも東側のルートにつきましては、本年4月から新たに運行ルートの見直しをして走り出したところです。かつ、その直後に新型コロナもありまして利用状況をつかみきれていないところもあります。本市においては土曜日運行は昼間の4便から6便についてはマリア病院行きの神姫バスとの接続の時間帯ということや、休日のお買い物を楽しんでいただいている利用者に配慮し、3便のみを残す形で本格運行を予定しております。地域の皆さんに利用したいだけのように周知し、利用状況を見ながら福崎町と一緒にやっていきたいと思っております。

なお、ふくひめ号の導入に関するフィーダー系の申請など福崎町にお世話になりましたことをお礼させていただきます。

会 長 ありがとうございます。ご意見ご質問等ございますか。

無いようなので審議に移ります。

協議事項④について賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

協議事項④福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」の本格運行について協議が整いました。

協議事項⑤コミュニティバス運営のための施設（車庫等）の建設について

会 長 続いて、協議事項⑤コミュニティバス運営のための施設（車庫等）の建設について事務局に説明していただきます。

事 務 局 (資料7により説明)

(2ページ)

前の協議会の時に事前説明させていただいた内容と同様となっています。右上の線で囲ったところが現在の神崎交通の事業所です。

左下の線で囲った事業計画地で車庫等の建設を計画されております。

(3ページ)

配置図になっております。

(4ページ)

車庫等の平面図です。

(5ページ)

開発の許可等が通常は必要となりますが、地域公共会議等で承認を頂ければこの限りではないということでご審議をお願いしたいと思います。

以上です。

会 長 何かご質問等ありますか。

申請するための手続きということですね。

事 務 局 はい。

会 長 それでは、協議事項⑤コミュニティバス運営のための施設（車庫等）の建設について賛成の方は挙手をお願いします。

（全員挙手）

ありがとうございました。協議事項⑤コミュニティバス運営のための施設（車庫等）の建設について協議が整いました。

5 その他

会 長 5. その他について何かございますか。

事務局 追加資料につきまして水田委員、池田委員の方からご説明があります。IC乗車利用計画ということで、令和2年3月から令和3年1月までのICです。ICOCA、PiTaPa、NicoPa、通学通勤、敬老福祉に分けています。

緊急事態宣言の後は4割まで落ち込んでいます。0%まで落ち込んでいるのが通学です。大学がweb授業になり、ほとんどバスの利用がない状況になりました。

緊急事態宣言が解除になり8割まで戻りましたが、第3派で現在7割まで落ち込んでおります。現在は獨協大学、県立大学方面も走っていますが、利用はゼロに近い数字です。

高速線で対前年で35%です。姫路営業所については関西国際空港行きのリムジンバスの運休、都市間高速の渋谷新宿線の運休、伊丹便はかろうじて運行していますが、1便あたり2～3人という状態で運行しています。

危機的な状況を切り抜けるために、神姫バスグループといたしまして、地域の皆様にいろいろなサービスを展開しておりますので皆様にご利用いただければと思います。以上です。

委 員 対前年で9割ぐらいしか戻らないのではないかとされています。

また、貸し切りバスは4月の緊急事態宣言以降ほとんど利用が無い状況です。

解除後は、修学旅行や旅行会社のツアーなどで若干動き出しましたが、また緊急事態宣言が出たということで利用が無い状況になっております。コロナ対策のガイドラインも出しまして、各事業者がそれに基づいてやっておりますのでご利用のほうよろしくお願いたします。

また、高齢運転者の方におかれましては、免許証の返納をして頂き、運転免許経歴書をご提示いただくといろいろな特典がございますので、そちらの方もよろしくお願いたします。以上です。

会 長 ありがとうございました。

頑張っていたきたいと思います。

その他何かございますか。

委 員 各業界非常に厳しい状況です。国土交通省といたしましても、第3次の補正予算として305億円、観光庁も含めてですが、支援をしていきたいと思っておりますが、全額の補助ではございませんので各自治体におかれましては臨時交付金などを活用いただいて支援をお願いしたいと思います。

委 員 NPO法人の方の精神障害割引の希望がありましたので神崎交通は12月26日に精神障害割引の許可をいただいております。また、福崎町が

住みよい町になるようにママサポートタクシーの提示をしております。
子供が生まれた方の助けになるように心がけていきたいと思ひます。
以上です。

会 長 ありがとうございます。
以上で事務局に返したいと思ひます。

10 閉会

事務局 松本会長ありがとうございます。
以上をもちまして、令和2年度第3回福崎町地域公共交通活性化協議会
を終了させていただきます。ありがとうございます。

—以上—